MSE 699 F11(13)-R04(17)

|  |
| --- |
| **環境マネジメントシステム審査登録**  **事前調査書（初回審査用）** |

事前調査書記入にあたってのお願い

①本調査書は見積書作成のための資料となります。また、後日の審査資料の一部ともなります。***なお、1.事業所の概要　(6)登録を希望する業務内容、製品及びサービスの内容(①～⑤関連資料)は審査日程調整のうえからもなるべく早い時期に提出いただきますようお願いいたします。(必須)***

②（現時点で）不明な点等がある場合、ご記入いただかなくても結構です。

③複数のサイトがある場合、本様式をコピーしてご記入のうえご提出下さい。

**一般財団法人三重県環境保全事業団**

**国際規格審査登録センター**

１．事業所の概要

|  |
| --- |
| (1)事業所名：(ふりがな) |
| (2)受審責任者（審査登録契約に責任を持てる方）及び役職：  (ふりがな) |
| (3)審査登録対象組織及び所在地：  　 ⇒ □全(社)組織を対象  　　　□一部の組織を対象(その詳細を以下にご記入下さい。)  審査対象組織が複数サイトの場合は、製品/サービス並びにプロセスをサイト毎にご記入下さい。  　　　　組織名　　　　　　　　　　　住所　　　　　　　　　　　　　　　人員数  〒  1.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 人  製品/サービス並びにプロセス:  〒  2.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　人  製品/サービス並びにプロセス:  〒  3.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　人  製品/サービス並びにプロセス:  〒  4.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　人  製品/サービス並びにプロセス:  〒  5.　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　人  製品/サービス並びにプロセス:  　総人員数　　　　　人  人員数の欄には年間を通じての平均人員数を記入してください。（対象者は審査対象組織内の従業員，協力会社社員，派遣社員，パート従業員(８時間換算で１人)、期間従業員(８時間換算で１人)等です。） |
| (4)適用範囲から除外するサイトがあればご記入下さい。 |
| (5)審査対象組織をすべて訪問する場合、移動に要する時間はどの程度必要でしょうか。（概数時間で結構です。）　　　　　　約　　　　　　時間 |
| (6)上記の組織において、３交代制勤務体系を採用している組織があれば、その内容（勤務時間、３交代の人員数）をご記入ください。 |
| (7)登録を希望する業務内容、製品及びサービスの内容  　（次のものがあれば添付してください。）  ①会社案内、②製品案内、③全社組織図、④ＥＭＳ組織・体制図、⑤製造工程や業務フロー等を明示したもの |
| (8)事業に必要なライセンス（許認可）：ライセンスの名称 |
| (9)連絡担当者氏名  (ふりがな)  氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　部署：  TEL:　　　　　　　　　　　　　　　　　　FAX: |
| (10)製造工程、サービス提供業務の主要プロセスでアウトソース（外注委託）はありますか。  →　□あり　　□なし  **(必須)**  あれば、外注業者名と主要プロセスの業務内容を記入してください。  業者名　　　　　　　　　　　　　　業務内容  1.  2.  3. |

２．審査対象組織(事業所)の立地条件

|  |
| --- |
| 1. 土地の履歴等について 2. 事業所全体の面積を記入してください。また、用地はいつ取得されましたか。   　　　　　　　　　　　　　　　　ｍ２　　　　　　　　　　　　　　 　年取得  2.建築物の総面積，緑地面積及び環境施設面積を記入してください。  　建築物面積：　　　　　ｍ２　　緑地面積： 　 ｍ２ 環境施設面積： ｍ２  3.取得前は何に使用されていましたか。    4.現在の操業形態になったのはいつですか。 |
| 1. 自然環境について 2. 用地の周辺にどのような海、河川、湖沼等がありますか。名称及びその距離を教えてください。      1. 周辺に自然保護指定等、環境に敏感な場所がありますか。→□ある　　□ない     3.事業所もしくは周辺で地下水を使用していますか。井戸の本数及び総揚水量を教えてください。→□使用している(以下に記入ください。)　　□使用していない  　　井戸の本数　　　　　本　，　　総揚水量　　　　　　ｍ３／（　年 ，月　，日） |

３．事業所の環境影響等

|  |
| --- |
| (1)事業所の施設配置図があれば添付してください。→□ある　　　□ない |
| (2)環境側面について  １．大気系への排出について→□排出なし　　□排出あり　　□わからない  総排出ガス量　　　　　　　　　Ｎｍ２/時  （大気汚染防止法施行令別表第１にかかる特定施設があれば、教えてください。）  　　　　　　　　　　特定施設名　　　　　　　　　　　　　その他  １．  　２．  　３．  （県条例等にかかる指定施設等があれば、教えてください。）  　　　　　　条例等名称　　　　　　　　　施設名　　　　　　　　その他  　１．  　２． |
| ２．水系への排出について→□排出なし　　□排出あり　　□わからない  総排出水量　　　　　　　　　ｍ３/日  （水質汚濁防止法施行令別表１にかかる特定施設があれば、記入してください。）  　　　　　特定施設名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　その他  １．  ２．  ３．  （県条例等にかかる指定施設等があれば、記入してください。）  　　　　条例等名称　　　　　　　　　　　施設名　　　　　　　　　その他  １．  ２． |
| 排水系統図があれば添付してください。→□ある　　□ない |
| ３．土壌汚染について (土壌の環境基準に関係する物質を使用していれば、その物質名と使用量を教えてください。) →□使用してしない　　□使用している　　□わからない  １．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年  ２．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年  ３．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年 |
| ４．騒音について（騒音規制法、条例等にかかる特定施設等があれば、教えてください。）  →□該当しない　　□該当する　　□わからない  　　　　　　　施設名　　　　　　　　　　　　　　　　　 数  １．  ２．  ３． |
| ５．振動について（振動規制法，条例等にかかる特定施設があれば、教えてください。）  →□該当しない　　□該当する　　□わからない  　　　　　　　　　施設名　　　　　　　　　　　　　　　　　　数  １．  ２．  ３． |
| ６．悪臭について（悪臭防止法にかかる物質を使用していれば、物質名と使用量を教えてください。）→□使用していない　　□使用している　　□わからない  　　　　　　　物質名  １．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年  ２．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年  ３．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年 |
| ７．廃棄物処理法の規制を受ける廃棄物処理施設があれば、その施設名と処理量を教えてください。→□該当しない　　□該当する　　□わからない  １．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　処理量　　　　　　／年  ２．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　処理量　　　　　　／年  ３．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　処理量　　　　　　／年 |
| ８．事業所から排出される主な廃棄物の種類と量を教えてください。（該当するものにレ点を入れてください。）  □特別管理産業廃棄物　　□産業廃棄物　　□事業系一般廃棄物　　□その他  　　　　　　廃棄物の種類　　　　　　　　　　　　　　量  １．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　／年  ２．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　／年  ３．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　／年  ４．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　／年  ５．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　／年 |
| ９．フロンについて（業務用の空調機器、冷凍冷蔵機器等、フロン排出抑制法の該当する第一種特定製品があれば、教えてください。）  →□該当しない　□該当する　□わからない  １．  ２．  ３． |
| 10．その他（貴社が使用する主な化学物質名と使用量を教えてください。）  →□使用していない　　□使用している　　□わからない  物質名  １．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年  ２．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年  ３．　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　使用量　　　　　　／年 |
| 11．資源について（次の消費量を教えてください。）→□わからない  Ａ．電力 　　　　　　　　／年 　　Ｂ．ガス ／年  Ｃ．化石燃料 　　　　　　　／年  Ｄ．水  ①上水　　　　　　　　　②工業用水　　　　　　　　③地下水  　　　　　　　／年　　　　　　　　　　／年　　　　　　　　　　　／年 |
| 12．過去５年以内の環境関連の事故が発生したことがありますか？  　　→□ある（事故の内容を記入してください。）　□ない　　□わからない |
| 13．過去５年以内に住民、その他から環境関連の苦情等を受けたことがありますか？  →□ある（苦情の内容を記入してください。）　　□ない |
| 14．過去５年以内に行政指導を受けたことがありますか？  →□ある（指導の内容を記入してください。）　　□ない |

４．貴事業所における環境マネジメントシステムの状況

|  |
| --- |
| (1)環境マネジメントマニュアルは、ありますか。  □ある　　　□ない（→　□準備中　　□これから準備　）  (2)環境マネジメントシステムを構成する手順書、作業標準等は整備されていますか。  □ある　　　□ない（→　□準備中　　□これから準備　）  **↓**  整備される予定時期（　　　年　　月頃）  (3)受審を希望される環境マネジメントシステムは運用されていますか。いつから運用されていますか。  □運用している（→□１年以上前　□６ヶ月以上前　□３ヶ月以上前　□その他　）  □運用していない（→運用開始予定　　　　年　　　月頃） |

５．受審の時期

|  |
| --- |
| (1)登録年月の希望はありますか。  　　　　□なし　　　　□あり→（　　　　　年 　　月までに）  (2)審査を希望される時期はいつごろですか。  1.事前審査（第１段階）　　　　　　　　　　　年　　　月　　旬頃  2.登録審査（第２段階）　　　　　　　　　　　年　　　月　　旬頃  （注） ①本審査（事前審査＋登録審査）の前に必要に応じて事前情報収集調査を実施します。  ②本審査の事前審査と登録審査の間は45～60日を空けてください。  ③本審査は環境マネジメントシステムが確立し，維持されていることを確認します。このため、ＩＳＣでは最低限３ヶ月程度の環境マネジメントシステム運用を審査の条件としていますのでご留意下さい。  ④登録審査の後、判定委員会の審議の上登録となりますがこの間20～50日程度の日数を要しますのでご留意下さい。 |

６．審査の独立性・公平性について

|  |
| --- |
| この質問は、ＭＥＣ(当センター)が審査登録を行う上で、独立性、公平性を保って審査できることを確認するためのものです。下記の回答に基づき、審査をお引き受けできるかどうか検討させていただきます。  なお、第三者監査としての独立性・公平性を保って審査ができないと判断された場合は、当センターではお引き受けできませんので予めご了承下さい。  (1)ＭＥＣ(当センター)との資本関係(出)について  ＭＥＣの基本財産へ出捐しているといった関係がありますか、又は以前(過去2年間)に関係がありましたか。  　　□あり　　　□なし  　「あり」の場合は、資本関係の内容:  出捐金額:  (2)ＭＥＣの役員(理事、評議員)又は職員との関係について  ＭＥＣの役員又は職員と下記のような関係がありますか。又は以前(過去2年間)に関係がありましたか。  ①御社のマネジメントシステムの構築に関与している/いた。  ②御社の役員又は要職に就任している/いた。  ③御社と出資、債権、債務等の関係がある/あった。  ④御社と何らかの利益供与の関係にある/あった。  ⑤その他の関係がある/あった。(具体的に記入: )  □あり　　　□なし  「あり」の場合は、その役員又は職員名    (3)コンサルタントについて  御社のJIS Q 9001(ISO9001)、又はJIS Q 14001(ISO14001)のシステム構築等について、いままでにコンサルタントサービスの提供を受けましたか又は予定していますか。  □はい　　　　　□いいえ  「はい」の場合は、コンサルタント機関又は個人の名称  ①機関名(個人)  ②所在地  ③担当者  (4)特別な研修などについて  御社のJIS Q 9001(ISO9001)、又はJIS Q 14001(ISO14001)のシステム構築等に関して特別な研修等の提供を受けましたか又は予定していますか。  ※一般的な不特定多数の人を対象とした研修などへの参加された場合は該当しません。  □はい　　　　　□いいえ  「はい」の場合は、コンサルタント機関又は個人の名称  ①機関名(個人)  ②所在地  ③担当者  (5)内部監査について  御社では内部監査を外部の機関又は個人の方に実施いただいたことがありますか、又は予定がありますか。  □はい　　　　　□いいえ  「はい」の場合は、コンサルタント機関又は個人の名称  ①機関名(個人)  ②所在地  ③担当者 |

７．その他

|  |
| --- |
| (1)今回の審査対象組織で他のマネジメントシステム登録をしているものがあればご記入ください。  　（たとえば、JIS Q 9001：2008/JIS Q 9001：2015）  マネジメントシステムの種類：  登録機関：　　　　　　　　　　　　　　　初回登録年月日：　　　年　　　月　　　日 |
| (2)今回の審査対象組織以外で既にJIS Q 14001:2004/JIS Q 14001:2015を登録している組織があればご記入ください。  組織の名称：  登録機関：　　　　　　　　　　　　　初回登録年月日：　　　年　　　月　　　日  　　上記組織のほか、　　　　　組織にて登録済み（数字記入） |
| (3)今回の審査対象組織以外で既にJIS Q 9001:2008/JIS Q 9001：2015を登録している組織があればご記入ください。  組織の名称：  登録機関：　　　　　　　　　　　　　　初回登録年月日：　　　年　　　月　　　日  上記組織のほか、　　　　組織にて登録済み（数字記入） |

＊本調査書で知り得た情報は審査登録業務の目的以外に使用せず、また、機密保持の原則に従い取り扱うことを誓約いたします。

＊本調査書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

一般財団法人三重県環境保全事業団

国際規格審査登録センター（ＩＳＣ）

◎審査部管理課

ＴＥＬ 059-245-7514

ＦＡＸ 059-245-7524

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ：<http://www.mec.or.jp/ISC/>

**ＩＳＣ記入欄　【総括表】　（以下には記入しないでください。）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受領年月日 | 年　　月　　日 | 受領者 |  |
| 事業者名 |  | | |
| 代表所在地 |  | | |
| ＭＳの種類 | □EMS | | |

|  |  |
| --- | --- |
| **申請受理の可否：**  □受理する  □条件付で受理する（→条件を特記事項に記入）  □受理しない（→理由を特記事項に記入） |  |
| **特記事項：** | 管理課長 |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認内容 | | | 確認結果 |
| 1 | 申請内容 | 1) 申請内容の妥当性  【登録範囲の表記（MS610D02）参照】 | □妥当である　　□妥当ではない |
| 2) パンフレットなどの組織概要の入手 | □入手済　　　　□後日入手 |
| 3) 組織からの要望事項 | □無　□有（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 4) 申請組織との理解の相違 | □無　□解決済　□未解決（　　　　　　　　　　　　） |
| 2 | 申請組織の状況 | 1) 経営意図、状況の健全性などの疑わしい情報 | □無　□有（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 2) ISCの審査登録業務に害をなす恐れ | □無　□有（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 3 | 申請組織との関係 | 1) MS審査登録機関／審査員研修機関か | □該当しない　　□該当する⇒受理しない |
| 2) ISCと関係のある組織か | □該当しない　　□該当する |
| 3) **「審査登録業務の公平性確保(MS160C01)」**の 登録申請事業者リスク評価表との関係 | □該当しない  □該当⇒受理しない  □該当⇒受理するが、特別管理を行う |
| 4) 審査員、技術専門家としての契約を締結している | □契約していない　　　　□契約している |
| 5) ISC要員（出向期間中は、出向元及び出向先の双方に勤務中とみなす） | |
| (1) 申請組織と利害関係にあり、審査業務を提供できない要員は**「公平性確保に対する管理基準(MS160C03)」**の公平性確保に対する調査表で確認 | □無  □有（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| (2) 公平性確保に対する調査表(MS160C03)の⑤に該当する場合、所属先が申請組織に過去2年以内にコンサルを提供したか | □提供していない  □提供した（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 6) 契約審査要員（出向期間中は、出向元及び出向先の双方に勤務中とみなす） | |
| (1) 申請組織での過去2年以内の勤務者 | □無　□有  （　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| (2) 過去2年以内に申請組織にコンサルを提供した職員 | □無　□有  （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| (3) 現在コンサル機関に所属している要員の所属先が申請組織に過去2年以内にコンサルを提供したか | □コンサルは提供していない  □コンサルを提供した |
| □該当する要員はいない  □該当する要員がいる  （コンサル機関：　　　　　　　　　　　） |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| リスク評価 | ①審査希望範囲は審査が可能なのか | ＪＡＢ | 運営委員会 | | 理事会 | | 未認定、未承認の場合の対応策を記入すること。 | |
| 認定済 □  未認定　□ | 承認済　□  未承認　□ | | 承認済　□  未承認　□ | |
| **②JAB産業分類№** |  | | | | | | **設定根拠は下記補足資料に記載** |
| ③環境負荷 | 大　　　中　　　小 | | | | | | |
| ④関連資料の添付 | □会社案内　□製品案内　□全社組織図　□ＥＭＳ組織・体制図  □製造工程や業務フロー等　□その他 | | | | | | |
| ⑤環境分野別力量分析評価表／分野別関連情報レポート | 環境分野別力量分析評価表⇒□あり □なし | | | 分野別関連情報レポート⇒  □あり □なし | | | |
| ⑥活動範囲の典型的環境側面及び影響の特定 |  | | | | | | |
| ⑦環境側面及び影響に関連した必要な力量 |  | | | | | | |
| ⑧登録範囲 |  | | | | | | |
| ⑨事業に必要なライセンス |  | | | | | | |
| ⑩要求事項への適合に影響を与える外部委託したプロセス |  | | | | | | |
| ⑪関連する分野に関する専門性を備えた審査要員 | 審査員：□あり □なし  主任審査員：  審査員： | | | | 技術専門家：□あり □なし | | |
| ⑫適用範囲 | 登録の範囲から除外　　□あり　　　□なし | | | | | | |
| ⑬本来システムに入れておくべき活動の要素を登録の範囲から除外 | ＩＳＣ調査結果  【マネジメントシステムの信頼性担保の検証】  □除外の理由に対する説明の妥当性  ・聞き取り調査：  □組織ＨＰの情報は確認したか  ・検証による矛盾、リスクの高いサイトを意図的に除外していないか  □業務内容に除外が無いか  ・検証による矛盾、リスクの高いサイトを意図的に除外していないか  □サイトに除外が無いか  ・検証による矛盾、リスクの高いサイトを意図的に除外していないか  ※上記確認の結果、契約前に現地調査が必要か  □必要　　　□不要  ※必要の場合の調査結果  ・システム文書の検証結果  ・マニュアル制定年月日  ・適用範囲の記載内容  ・事前入手情報との差異の確認結果  ・現地調査結果  ・管理責任者又は事務局の聞き取り調査結果  ・著しい環境側面、緊急事態に環境影響のリスクが高い施設、設備がサイトに含まれているか  ・法規制順守の観点から除外が適切か | | | | | | |
| ⑭休眠状態の産業分野の審査の要求 | JAB産業分類（休眠状態）→　□該当する　　□該当しない  【どの産業分類が該当するか】 | | | | | | |
| ⑮標準料金表との審査工数調整の必要性 | 標準料金表との工数調整→　□不要 □要【要の場合の理由】 | | | | | | |
| ⑯コンサルの活用 | コンサル活用の有無→ □あり □なし  【□ありの場合明記】 | | | | | | |
| ⑰登録に関する決定を担当する力量 | 判定委員数　　　　　　人  判定委員の資格要件の有無→ □あり □なし | | | | | | |
| ⑱その他 |  | | | | | | |
| 力量評価 | | □　可　□　不可 | | 理由 | | | | |
| 渉外メモ | |  | | | | | | |

**＜JAB産業分類決定 補足資料＞**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ② JAB  産業分類 | 産業分類№ | 事業内容 | 設定根拠（該当に○） | | | |
| 環境影響 | 業務量 | 利害関係者のﾆｰｽﾞ | 社会の  信頼性 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| 管理課長 |
|  |